

がありません。

多くの魚類は鼻孔がふたつです。ウミヘビ類の前鼻孔は短い管状で、吻の下面にあるのが普通です。後鼻孔は上唇か口の中に開きます。本種は全長1 mにもなります。1ページの個体は最大級ということになります。

## ウミヘビ科 ホタテウミヘビ

*Pisodonophis zophistius*



2003年11月7日に灘で採集されたホタテウミヘビ。全長80cm。

本種もミナミホタテウミヘビと同じく土佐湾沿岸の小型底曳き網でよく捕獲されます。通常はせいぜい70cm程度ですから、写真の個体は最大級です。

今回の魚はいずれも高知市横浜の漁師、永野昌枝さんのカニ刺し網に掛かったものです。通常は沿岸の浅い所に棲んでいます。ウミヘビ類は骨が多くて固いため、食用なりません。漁師さんにも嫌われていますが、ウミヘビ類が多いことは餌になる小動物が多いことを意味します。

2004年8月18日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，  
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）をお願いします。